

桑名市教育振興基本計画 「くわなっ子教育ビジョン」 進捗状況について



1. 第1回「くわなっ子教育ビジョン」作成委員会での協議（8月21日）

【協議テーマ】新ビジョンの方向性・柱立てについて

- ・ 児童生徒が桑名で育って良かったと思う・教職員が充足感を持って教育にあたれるなど「ウェルビーイング」に係る視点を反映させる必要がある。
- ・ 「創造する力」「情報活用能力」など、国の方向性や県ビジョンを踏まえ、探究的な学びを通して予測困難な時代に対応する力の育成が求められる。
- ・ 外国人児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒への対応において、「人権（共生）」の視点を継続して盛り込んでいけると良い。

【協議要点まとめ】

新ビジョンでは、子どもと教職員双方の「ウェルビーイング」を土台に、未来を生き抜くための「創造する力」「情報活用能力」の育成と、多様性を尊重する「人権意識」を重視できると良いという認識を共有。



2. 総合教育会議での協議（8月25日）

(1) 愛知教育大学 野田学長 講演「小中学校の学びの連続性」より

- ・ 子どもの興味関心を起点に「問いを立て」、協働しながら答えのない課題に向き合う「探究的な学び」が重要となるため、9年間の学びの柱に据えることが求められる。
- ・ 教職員が「〇〇先生みたいな先生になりたい」と思われる姿を見せられるよう、学校内外とのつながりをバックアップする体制についても検討が必要となってくる。

(2) 総合教育会議での協議

【協議内容テーマ】新ビジョン策定に向けて本市が大切にしていけるべきこと

- ・ 「就学前からの切れ目のない支援」「学習意欲の向上」「特別支援教育の強化」が喫緊の課題とされる。
- ・ 地域社会の課題を解決していけるような探究的な学びが求められる。AI時代に対応する「学ぶと働くをつなげる教育」が今後重要となる。
- ・ 登校を選択しない児童生徒を含め「誰一人取り残さない」教育の実現が望まれる。
- ・ 学校・家庭・地域が互いへの信頼感のもとチームとなりつつ、教員の「ウェルビーイング」と専門性向上が不可欠である。

【協議要点まとめ】

学びの質的転換を図る「探究的な学び」を重視し、地域と連携した「学ぶと働くをつなげるキャリア教育」、そして「誰一人取り残さない」教育という理念が重要であるという認識を共有。



新教育ビジョン策定に向けた進捗状況について③

3. 第2回「くわなっ子教育ビジョン」作成委員会での協議（11月18日）

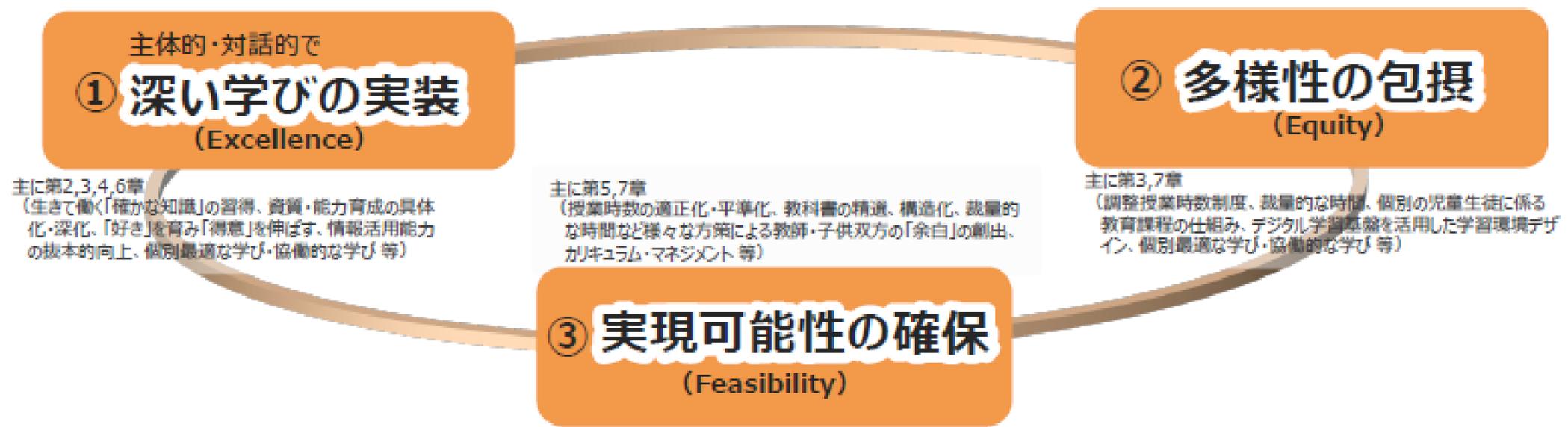
【協議事項】	【協議要点まとめ】
第1回作成委員会以降の進捗状況と新ビジョン策定の基盤	新ビジョンでは、子どもと教職員双方の「ウェルビーイング」を土台に、探究的な学びを通じた「創造する力」「情報活用能力」の育成、特別支援・外国人児童生徒への対応を含む「人権意識（多様性の尊重）」を重視する認識を共有。具現化の基盤として、中央教育審議会論点整理が示す「深い学びの実装（Excellence）」「多様性の包摂（Equity）」「実現可能性の確保（Feasibility）」の三位一体を採用することを確認。
新ビジョンの柱となる「育みたい力（く・わ・なの力）」案について	提案された3つの力は、就学前の段階からもベースとして意識できるものであり、多様性包摂の視点から妥当であると評価された。特に、「わかちあう力」は他者とのつながりを通じてウェルビーイング（WB）の向上につながると意見が出された。一方で、子どもの自尊感情につながる「なしとげる力」の重要性が強く指摘され、「なしとげる力」と「なっとくするまで追求する力」について、事務局で再検討し「なしとげる力」に決定。
三位一体の原則に基づく「横断的な視点」案について	視点①（自己肯定感・WB）と視点②（深い学びの実装）は分かりやすいとの意見があったが、視点③（持続可能な教育体制）については、教職員支援に偏り、子どもの教育ビジョンとしての意識が薄れると誤解されないよう、提示する際には説明が必要であろうという意見が出された。視点②の「多様性を力に変える」という表現については、具体的にどう具現化するか、また、その理由付けを明確にすべきとの意見が出された。また、視点の表現を「学校をめざします」ではなく「学校づくり」としてはどうかという指摘があった。
桑名市独自の課題を統合した「基本方針」案について	桑名市独自の課題（探究、キャリア、ICT/AI）と三重県ビジョンを統合した6つの基本方針案は、妥当であると認められた。特に、小中一貫教育を推進する上で不可欠な、系統性を見つめた「学ぶと働くがにつながる」という視点（方針②）が重要であると強調された。また、「誰一人取り残さない学びの保障」（方針④）に込められた教職員としての思いや、学校現場からの関心が高い「地域連携」や「安全・安心な教育環境整備」をどのように反映させるかが重要との意見が出された。
新教育ビジョンの「教育理念」案について	教育理念案「自分らしくかがやき 人とつながりながら しあわせをつくる」について最終審議が行われた。この理念は、主語が子どもに限定されず、教師や地域が主語に変わっても意味を成す点、ネット社会において重要な「つながり」を重視している点、そして温かい印象を与えるひらがな表記などから、委員からは賛成多数をもって了承された。
新ビジョン策定に向けた今後の具体的なスケジュールについて	関係各課係に対し、1月末を締切として、【基本方針：施策振り分け表】を参照し、新ビジョン基本方針（8本）に基づく「めざす姿」と「成果指標(KPI)」の案を教育指導課へ提出すること、および次年度4月末をめどに、詳細な実行計画案を策定・提出するスケジュールが説明され、確認された。

3. 最新の教育情勢（中央教育審議会教育課程企画特別部会論点整理）より

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

補足イメージ1-①

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



学びをデザインする高度専門職としての教師 デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
 「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白 総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

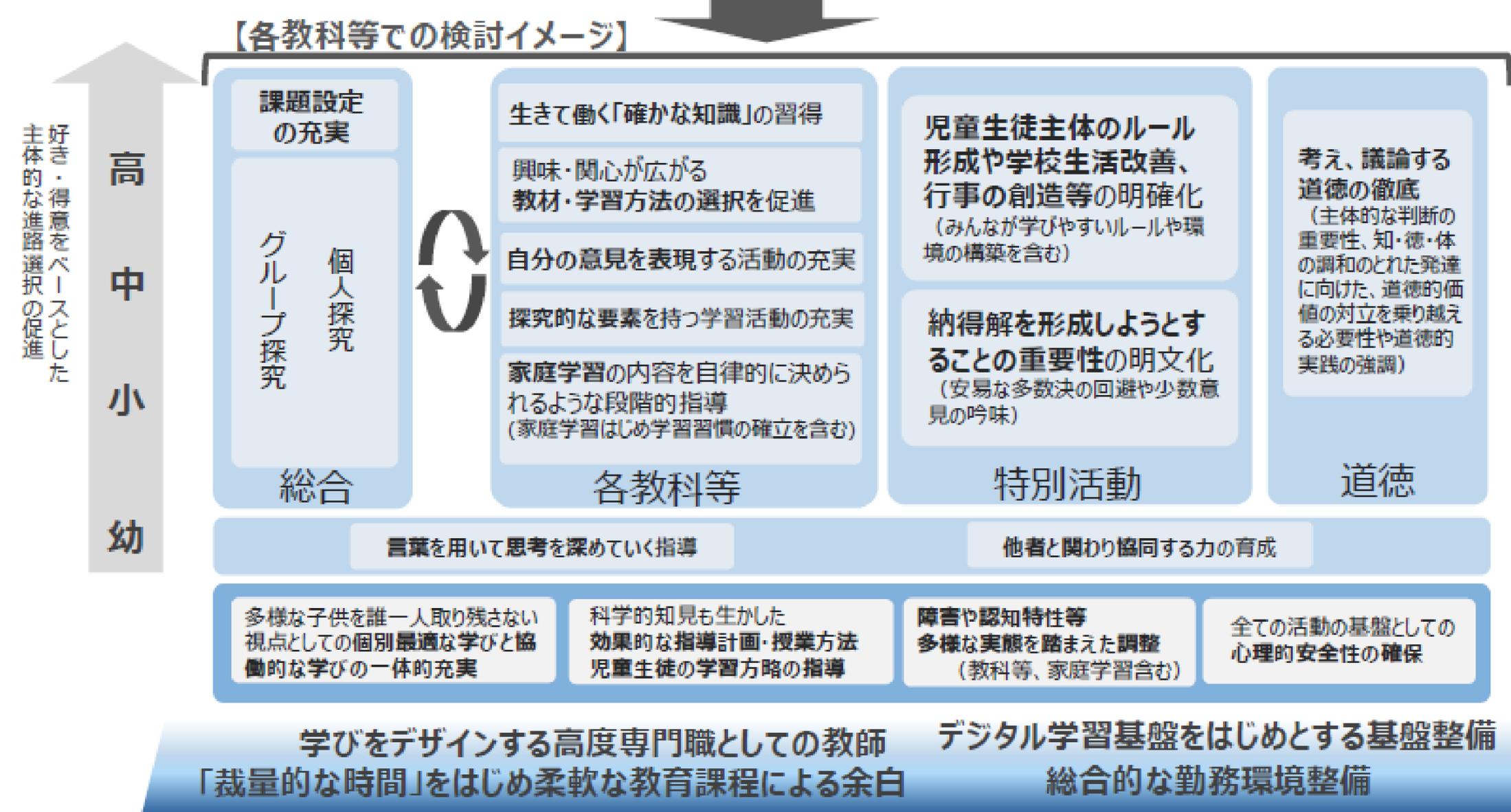


生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、
自らの人生を舵取りすることができる 民主的で持続可能な社会の創り手 をみんなで育む

3. 最新の教育情勢（中央教育審議会教育課程企画特別部会論点整理）より

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた **自らの人生を舵取りする力** と **民主的で持続可能な社会の創り手** 育成（今後の検討イメージ） 補足イメージ1-②

「好き」を育み、「得意」を伸ばす（興味・関心） × 当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる

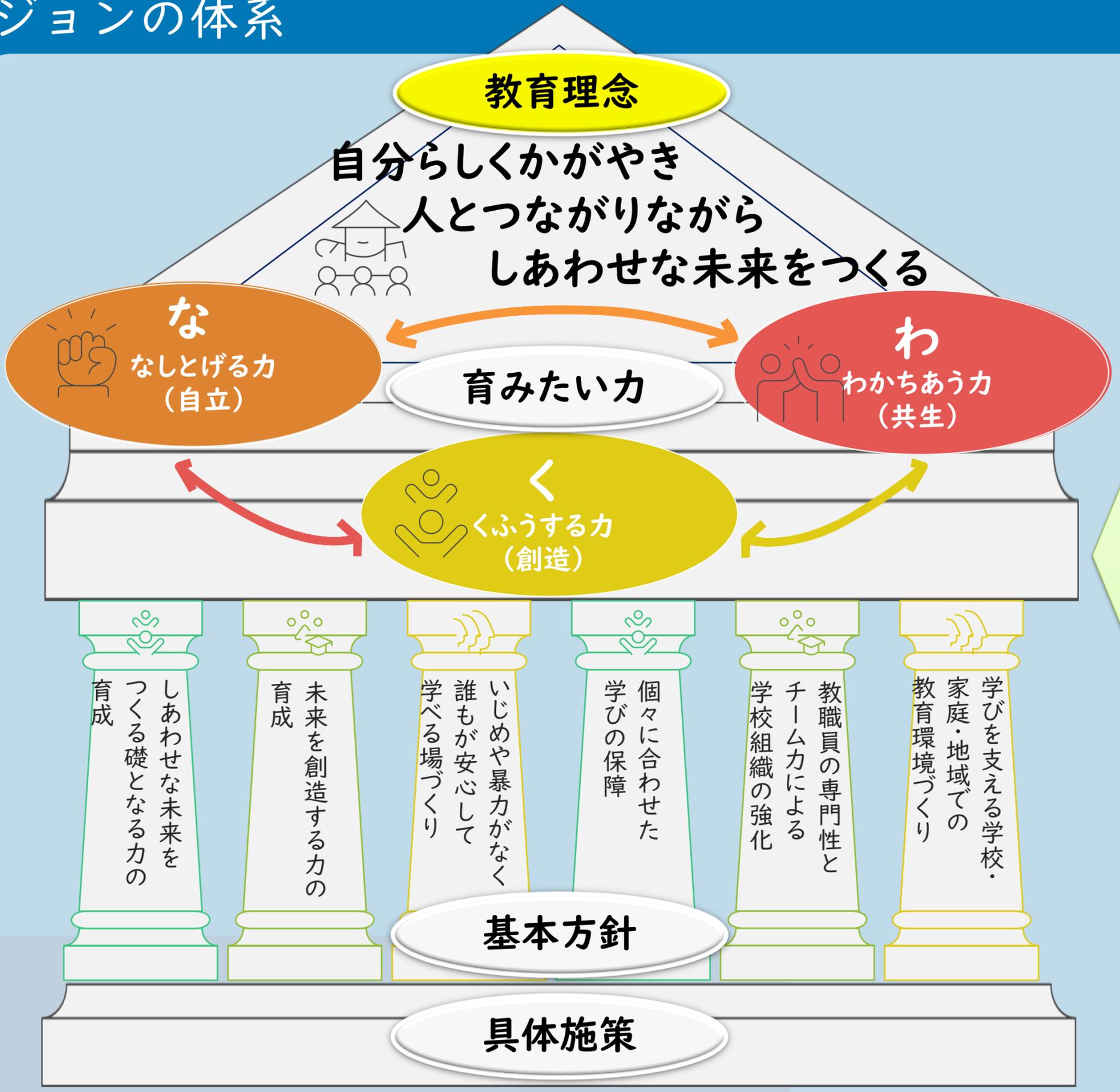


※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今後の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

観点	三重県教育ビジョン (R6~R9)	くわなっ子教育ビジョン (R2~R6)
教育理念	『子どもたちが個性を輝かせ望む未来を実現していくために』	『夢を持ちその夢に向かって努力する子を育てます』
子どもたちに育みたい力	「自立する力」「共生する力」「創造する力」	く…くりかえしチャレンジするやる気 わ…わかるまでじっくり考える根気 な…なかまとともにつながる力=くわなの力
横断的視点	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの目線に立ち、個に応じた学びを大切にします ○学年や校種を越えた連続性のある学びを実現します ○家庭・地域と連携・協働して子どもたちを育む学校づくりを行います ○教職員がやりがいを持って子どもたちと向き合える環境をつくります 	<p>視点1 未来を切り拓く「生きる力」の育成を図ります。</p> <p>視点2 子どもたちが生き生きと生活できるよう支援します。</p> <p>視点3 郷土に誇りを持ち、生涯にわたり学び続ける環境を作ります。</p> <p>小中一貫教育：「授業改善」「チームでの対応」</p>
重点施策の体系	<p style="text-align: center;">6つの基本施策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未来の礎となる力の育成 2. 未来を創造し社会の担い手となる力の育成 3. 特別支援教育の推進 4. いじめや暴力のない学びの場づくり 5. 誰もが安心して学べる教育の推進策 6. 学びを支える教育環境の整備 <p style="text-align: center;">→各基本施策に対し32施策</p>	<p style="text-align: center;">8つの基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> I 確かな学力の定着と向上 II 豊かな心の育成 III 健やかな体の育成 IV チームでの指導力向上 V 教育環境の整備 VI 地域とともにある学校づくり VII 文化・スポーツの振興 VIII 生涯学習の推進 <p style="text-align: center;">→各基本方針に対し23施策</p>

<令和7年度桑名市教育委員会部局目標>

1. 小中学校再編計画の策定
2. 令和8年4月の多度学園開校に向けた建設工事等の推進・整備
3. ICT機器等の一斉更新に向けたスケジュール等の整備と運用方針の決定および活用推進
4. 良好な教育環境の整備
5. コンプライアンスの徹底
6. 特別支援教育及び外国人児童生徒教育の推進・充実
7. いじめ・不登校の未然防止と支援の充実



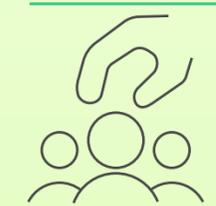
横断的な視点

自分らしくかがやき × 深い学びの実装



すべての子どもたちが自己肯定感を育みながら、自分らしくかがやく学校をめざします。

人とつながりながら × 多様性の包摂



人とのつながりをとおして、多様性を力に変え共生する居場所をつくりまます。

しあわせな未来をつくる × 実現可能性の確保



教職員の専門性とやりがいを、学校全体と地域で支え、子どもたちがしあわせな未来をつくる基盤を確立します。

		実施期間
三重県	～子どもたちが個性を輝かせ、望む未来を実現していくために～	R6～R9
木曾岬町	すべての町民が生きる喜びを実感できる人づくり	R3～R7
いなべ市	1「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成2創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進3教職員の資質の向上4青少年の夢を育む地域づくりの推進5生涯学習の充実6文化芸術活動の充実7総合的なスポーツの推進8自然環境の保全・充実	R3～R7
東員町	確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）の育成	R5～R7
朝日町	「自ら未来を切り拓く人間力の育成と歴史・文化の香るまちづくり」	R7～R9
川越町	『豊かな心』を土台とした学校教育・社会教育の推進	R4～R8
四日市市	夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども	R4～R8
鈴鹿市	人とつながり自ら豊かな未来を切り拓く鈴鹿の子ども	R6～R9
菰野町	「地域でつながり、支えあうしくみをつくろう」 「新しい時代をたくましく生き抜く子どもの育成」	R4～R8
亀山市	可能性に挑み 人とつながり 未来を創る「亀山っ子」	R4～R8
津市	持続可能な社会の創り手となる自立した人づくり	R5～R9
松阪市	夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり	R4～R8
伊勢市	郷土を愛し、夢と意欲を持ち未来を切り拓く人づくり	R4～R8



自分らしくかがやき 人とつながりながら しあわせな未来をつくる

	反映元	案での要素
「自分らしく かがやき」	探究の本質とモチベーション (愛教大 野田学長)	野田学長が強調した、学びは「強いられてやる勉強」ではなく、「興味を持って探究する楽しいこと」であるという本質を体現。「ワクワクし」という意欲の原点を表現。 9年間の小中一貫教育のゴールの姿を想定。次期学習指導要領の論点整理でも改めて示された「生きて働く知識及び技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」を身につけ、主体的に「挑む」子どもを表現。
「人とつながり」	連続性と共生 (作成委員会・野田学長・総合教育会議)	総合教育会議で出された「学びの中で町とつながっていく」「教師の子どもへの関わり方の連続性」や、特別支援・外国人児童生徒を含む多様なニーズへの包摂(共生)、そして「小中一貫の視点」での義務教育学校再編の課題(切れ目ない接続)を、「つながり」で表現。 多様性の包摂として柔軟に自身の人生を舵取りする力、自尊感情、困難や逆境への適応、レジリエンス、多角的なものの見方(学習指導も含む)、誰一人取り残されない学びを表現。
「しあわせな 未来をつくる」	教育の最終目標(国・総合教育会議)	「国の第4期教育振興基本計画のコンセプトであるウェルビーイング(WB)を教育の究極の目標と定義。総合教育会議で市長より提案された「一人ひとり原因が違う状態に寄り添う」や、市民が追い求める「幸福感」を表現。
全体	国(中教審)・三重県の方 向性	「自分らしく」「つながり」「未来をつくる」：三重県が育成を目指す「自立・共生・創造」の三つの力を統合し、中教審が求める「自らの人生を舵取りする力」を含め表現。



自分らしくかがやき 人とつながりながら しあわせな未来をつくる

現行理念：「夢を持ちその夢に向かって努力する子を育てます」

現行理念の要素	案での継承	関連
夢を持ち	しあわせ 未来をつくる	夢を「個性を最大限に発揮し、自己実現を達成する幸せ(ウェルビーイング)」へと現状に応じて 深化。
その夢に向かって努力 する	自分らしく かがやき 人とつながり	「夢に向かって努力」を、「自己肯定感の涵養」を基盤とした「自分らしくかがやく」と、多様性を 包摂し「人とつながり」へと深化。予測困難な時代をも乗り越える内発的な力(レジリエンス)を 表現。

育みたい力(く・わ・なの力)案について

現行育みたい力:「**く**りかえしチャレンジするやる気」「**わ**かるまでじっくり考える根気」「**な**かまとともにつながる力」=くわなの力

「くわなの力」が持つ「挑戦」「粘り強さ」「協働」という柱を、三重県教育ビジョンが掲げる「自立」「共生」「創造」の三つの力を踏まえ再構成し、最新の教育理念(WB、探究、多様性)に結びつける。

くふうする力



【創造する力】探究教育推進のイメージ。教育理念の「未来をつくる」と連動。総合教育会議での野田学長の提言(学びは「楽しいこと」であり、「探究」が原動力となる)を反映。現行「くわなの力」の「くりかえしチャレンジするやる気」を、「くふう」へと発展。中教審の重視する情報活用能力を基盤とした「創造する力」の育成とも紐づける。

わかちあう力



【共生する力】教育理念の「つながり」と連動。特別支援や外国人児童生徒など多様な子どもを「誰一人取り残さない」という多様性の包摂の視点。現行「くわなの力」の「なかまとともにつながる力」を、単なる協調ではなく、多様な価値観を力に変え、ともに新しい価値を生み出す「共創」へと発展させる。

なすとげる力



【自立する力】くわなっ子(=一人ひとりの子どもたち)の主体性とレジリエンスを表現。現行「くわなの力」の「わかるまでじっくり考える根気」の精神を継承しつつ、教育理念の「自分らしく」と連動。困難に直面しても諦めずに納得するまで追究し、立ち向かう「粘り強さ」(非認知能力)と、柔軟な思考力(しなやかさ)を、主体的な幸福(ウェルビーイング)を創る土台として位置づける。

横断的な視点案について

現行横断的な視点：『未来を切り拓く「生きる力」の育成を図ります。』

『子どもたちが生き生きと生活できるよう支援します。』

『郷土に誇りを持ち、生涯にわたり学び続ける環境を作ります。』

中教審の論点整理において掲げられた、三位一体（深い学びの実装：Excellence, 多様性の包摂：Equity, 実現可能性の確保：Feasibility）いずれかの軸に重点を置いて案として策定。以下の3つに精査。



すべての子どもたちが自己肯定感を育みながら、自分らしくかがやく学校をめざします。

【深い学びの実装Excellence/ウェルビーイングの基盤】

人とのつながりをとおして、多様性を力に変え共生する居場所をつくります。

【多様性の包摂Equity/個性の尊重】

教職員の専門性とやりがいを、学校全体と地域で支え、子どもたちがしあわせな未来をつくる基盤を確立します。

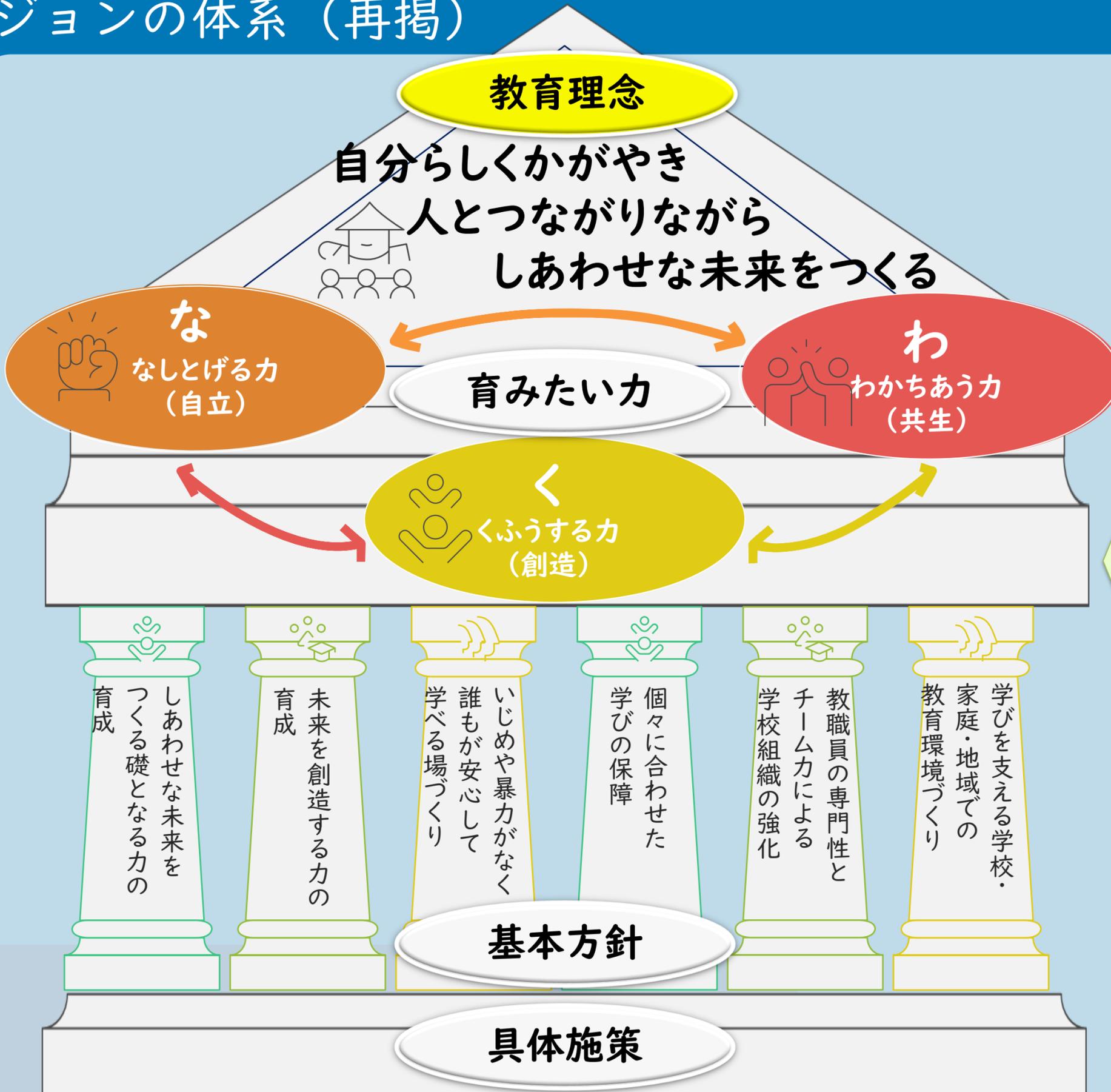
【実現可能性の確保Feasibility/持続可能性の観点】

基本方針案について

三重県教育ビジョン及び中教審の三位一体の視点を核とし、桑名市独自の課題解決を目指す要素を統合・再構成した6つの基本方針案を策定。

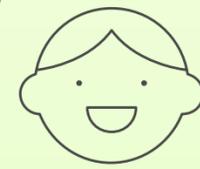


No.	基本方針案	概要
1	しあわせな未来をつくる礎となる力の育成	義務教育9年間を見通した小中一貫教育を基盤に、子どもたちの興味や関心を起点とした「主体的・対話的で深い学び」の実践を通じて、生きて働く知識・技能の習得と確かな学力向上を図る。自ら問いを立てて課題を解決する力を育み、変化の激しい社会において、しあわせな未来を自らの手で作るための児童生徒と教職員双方のウェルビーイングの実現をとおして確かな礎を築く。
2	未来を創造する力の育成	多様な人々との協働や社会参画を通じて、郷土への誇りと愛着を深める。学ぶことと働くことをつなぐ実感させ、自らの役割を認識して主体的に進路を選択するキャリア教育を推進し、新たな価値を生み出し、予測困難なこれからの社会をたくましく切り拓き、未来を創造する力を育む。
3	いじめや暴力がなく誰もが安心して学べる場づくり	子どもの心身の安全確保に向け、喫緊の課題とされている、いじめ・暴力行為を許さない場づくりに向け、学校内外の教育相談体制の充実や、迅速・確実な対応の推進、いじめ対策に関する教職員の資質向上と支援体制の構築を図り、学校を誰もが安心して過ごせる居場所となるよう目指す。
4	個々に合わせた学びの保障	特別支援教育、外国人児童生徒、登校を選択しない子どもたちへの支援といった「多様性の包摂(Equity)」を具現化する柱。誰一人取り残さないための組織的対応を包括し、教育・福祉等との連携による包括的支援体制を強化する。
5	教職員の専門性とチーム力による学校組織の強化	質の高い教育を持続可能にするための、教職員の専門性向上と学校組織による人的基盤強化を目指す。教員の専門性を高め指導力の向上を図るとともに、全ての教職員がやりがいを持っていきいきと働き続けられるよう、チーム担任制や教科担任制など学校運営を支える「チームでの対応」の高度化を図る。ICTを活用した業務効率化もこの柱で担保する。
6	学びを支える学校・家庭・地域での教育環境づくり	教育を「社会総がかり」で推進し、学校を地域コミュニティの核とするため、学校再編を踏まえた学校施設の整備、防災対策、学校安全といったハード・ソフト両面から環境整備を推進し、子どもたちが安心して学び続けられる環境構築を目指す。また、地域を学びの舞台とする視点を具現化し、学校・家庭・地域がともに子どもの学びを支える文化の醸成を図り、桑名市独自の多様な教育資源を活用できる基盤の拡充を目指す。



横断的な視点

自分らしくかがやき × 深い学びの実装



すべての子どもたちが自己肯定感を育みながら、自分らしくかがやく学校をめざします。

人とつながりながら × 多様性の包摂



人とのつながりをとおして、多様性を力に変え共生する居場所をつくります。

しあわせな未来をつくる × 実現可能性の確保



教職員の専門性とやりがいを、学校全体と地域で支え、子どもたちがしあわせな未来をつくる基盤を確立します。

今後の改訂までのスケジュール



R7

R8

R9

11月18日～
現行施策の整理: 現行くわなっ子教育ビジョンの具体施策 (現行施策振り分け表参照) を、三重県教育ビジョン (6基本施策) を参照しつつ、新ビジョン基本方針案のどの柱に組み込むかを検討する。
施策案の作成: 新ビジョン教育理念・付きたい力・横断的な視点に基づき、各「具体施策名」を設定し「めざす姿」と「成果指標 (KPI)」の原案検討開始。

～12月26日
 第2回作成委員会での協議を踏まえ、新ビジョンの骨子案を完成する。
 ～1月30日
 各課係にて作成した具体的施策については原案施策間の重複解消と階層構造の妥当性等を精査するため、原案を1月末までに教育指導課に提出する。

2月16日
総合教育会議: 進捗状況を報告・【基本理念】・【子どもたちに育みたい力】・【教育ビジョンを貫く視点〈横断的な視点〉】【教育の柱〈基本施策〉】原案について協議検討。
 2月17日
ビジョン研修会: 総合教育会議資料をもとに、新ビジョンの基本理念と方向性 (く・わ・なの力、横断的視点) を市内教職員に周知。

～4月30日
施策詳細の作成: 各具体施策について、「1. 施策名」「2. めざす姿」「3. 現状と課題」「4. 主な取組内容」「5. 成果指標 (KPI)」の全ての項目を雛形に基づき協議検討し、具体的な実行計画案を作成する。

(日程未定)
 決定された新ビジョンについて、市長、教育委員に対し報告する。

4月～



具体施策の作成 (雛形)について

【基本方針〇】

〇

現状と課題

〇

〇

〇

めざす姿

取組内容

①

②

取組の具体例

□

□

②

取組の具体例

□

成果指標

成果指標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)

※注釈

施策の見方

基本施策〇 ○○○○○○○○○○○

施策名

めざす姿

※ この施策を推進することにより、計画期間が終了する令和9(2027)年度末までに達成する姿を記載しています。

現状と課題

※ この施策に関する現状や課題、背景等を記載しています。

主な取組内容

※ この施策で実施する主な取組を記載しています。

KPI (重要業績評価指標)

項目	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和9年度)
※ 「めざす姿」の実現に向けた施策の達成状況を把握することができるKPIの項目を記載しています。	※ 現在(最新の実績)の数値を記載しています。	※ 令和9(2027)年度における目標値を記載しています。

各課係への依頼事項

- ・令和8年1月30日までに新ビジョン用「施策名原案」を作成。「めざす姿」と「成果指標(KPI)」について検討。
- ・令和8年4月30日までに各具体施策「1. 施策名」「2. めざす姿」「3. 現状と課題」「4. 主な取組内容」「5. 成果指標(KPI)」を雛形を基に作成



ご協議いただきたいテーマ

「新教育ビジョン骨子案について」

- 教育理念等の骨子案の方向性について
- 具体施策設定に向け考慮すべき点について

